

第 44 回 全国設備管理強調月間(2016 年度) 実 施 要 領

<実施期間> 2016 年 6 月 1 日～30 日 (準備月間：5 月 1 日～31 日)

<全国統一スローガン> 「見る目 気づく目 工夫の目 みんなで実践 自主保全」
(産業振興株式会社・小山智弘さん)

全国設備管理強調月間推進本部
公益社団法人日本プラントメンテナンス協会

I 第44回 全国設備管理強調月間 実施要領

1. 趣旨

本月間は、全国各企業の経営者層をはじめ全従業員の設備管理意識を高め、設備のロスやムダを徹底的に排除し、設備の極限的活用を図ることにより、設備の総合的コストダウンならびに環境保全、災害防止に寄与することを目的とします。

2. 概要

(1) 推進機関

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会に全国設備管理強調月間推進本部を設置します。

(2) 実施期間

実施期間は、2016年6月1日～6月30日とします

(準備月間：5月1日～5月31日)。

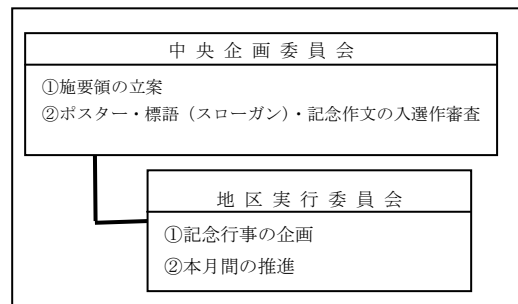
(3) 後援・協賛 (申請予定)

後援：経済産業省、厚生労働省、環境省、愛知県、福岡県

協賛：公益社団法人化学工学会、一般財団法人省エネルギーセンター、公益社団法人全日本能率連盟、一般社団法人中部産業連盟、一般財団法人日本科学技術連盟、一般社団法人日本化学工業協会、一般財団法人日本規格協会、一般社団法人日本産業機械工業会、公益財団法人日本生産性本部、一般社団法人日本設備管理学会、一般社団法人日本鉄鋼連盟、一般社団法人日本能率協会、日本メンテナンス工業会、公益社団法人大阪府工業協会、関西化学工業協会、公益社団法人山陽技術振興会、一般社団法人中国地域ニュービジネス協議会、中国地区品質経営協会、一般社団法人富山県アルミ産業協会、一般社団法人富山県機電工業会、一般社団法人富山県経営者協会、一般社団法人北海道機械工業会、地方独立行政法人北海道立総合研究機構、一般社団法人みやぎ工業会、山口県高圧ガス保安協会、公益財団法人やまぐち産業振興財団

(4) 対象

本月間実施要領の趣旨に賛同いただいた事業場を対象とします。



3. 全国的行事

(1) 全国統一スローガンの表示

全国統一スローガンの表示を各事業場に依頼します。第44回の全国統一スローガンは、2015年度標語金賞「見る目 気づく目 工夫の目 みんなで実践 自主保全」です。

(2) 記念行事の実施

本月間中に、各地区で記念行事を開催します。

(3) 作品の募集

各企業の従業員から設備管理意識の高揚を図るためにポスター・標語 (スローガン)・記念作文を募集し、入選作品を表彰します。

(4) 関連行事

本月間関連行事として各地区の記念行事で選考された優秀な事例発表を一堂に会した全国大会を2016年10月に開催予定 (開催地区・会場は未定) です。

4. 事業場ごとの行事

全国的行事にならって、事業場ごとにそれぞれ自由に特色のある行事を行うものとします。

- (例)・全国設備管理強調月間および全国統一スローガンの立看板・ポスターまたは垂れ幕の掲示
- ・改善発表会などの社内発表会の開催
- ・経営者層をはじめ従業員全員による設備総点検の実施

Ⅱ 記念行事 開催応募要領

1. ねらい

全国設備管理強調月間中に、記念行事を開催します。

これにより、各企業の実践的な技術情報の交流を図り、設備管理意識を高め、設備管理の水準を飛躍的に向上させることをねらいとします。

2. 開催日・会場

記念行事は、下記のとおりです。

※中国・四国地区と西日本地区の会場が決定しました

地区	日程	会場	内容
東北・北海道地区（北海道）	2016年6月16日（木）	北海道建設会館 （北海道札幌市）	活動事例発表会
東北・北海道地区（東北）	2016年6月23日（木）	フォレスト仙台 （宮城県仙台市）	活動事例発表会
東京地区	2016年6月29日（水）	タワーホール船堀 （東京都江戸川区）	活動事例発表会 保全実務セッション
北陸地区	2016年6月8日（水）	富山国際会議場 （富山県富山市）	活動事例発表会
中部地区	2016年6月17日（金）	名古屋国際会議場 （愛知県名古屋市）	活動事例発表会
	2016年6月24日（金）		中部地域交流会
関西地区	2016年6月10日（金）	クリエイターズプラザ （大阪府東大阪市）	活動事例発表会
中国・四国地区	2016年6月17日（金）	広島県情報プラザ （広島県広島市）	活動事例発表会
西日本地区	2016年6月24日（金）	ホテルレガロ福岡 （福岡県福岡市）	活動事例発表会

3. 応募要領

活動事例発表会の応募要領は、次のとおりです。

(1) 対象

運転・製造部門、保全部門、設計部門、管理部門（事務・間接部門）、安全・環境部門等の小集団自主活動リーダー（作業長・職長・組長・班長等第一線監督者等）および個人（小集団活動の形態をとらない場合）。

(2) 発表内容

上記各職場における設備管理に関する改善事例および効果について（個別改善・業務改善・簡易診断・目で見る管理・安全管理等）。

(3) 発表方法

- ・パソコン、その他（ビデオ、スライド等）を使用し、各会場に設置する液晶プロジェクター・スクリーンで発表資料を投影します（パソコンや記憶媒体等は各自でご用意いただきます）
- ・発表時間は1発表につき20分です（発表時間15分、質疑応答・コメント5分）

(4) 審査項目・基準

発表に対して、次の審査項目・基準にて審査を実施し、優秀な発表を選出します。

- ・優秀改善賞：会場ごとに審査項目・基準にもとづき、評価の高い発表を会場の発表数に応じて選出します。優秀改善賞に選出された作品は、10月に開催予定の全国大会に発表がエントリーされます
- ・奨励賞：次頁基準以外に「内容が独創的である」「今後の取組みが期待できる」等、当日審査員の視点で選出します。優秀改善賞の次点に位置づけられるものではありません

項目	基準	点数
実績の評価	小集団自主活動等によって、設備の改善、組織・システム・作業等の改善に取り組み、故障、チョコ停、速度、プロセス不良、立上がり、歩留まり等のロスゼロに挑戦し、設備の総合効率、人の作業効率をいかに高め、かつコストの引下げならびに環境保全、災害防止に寄与したか等	5点
活動の評価	職制と一体となって、企業の目標達成のために自立的に行われた活動の実績であること	5点

(5) 東京地区保全実務セッション

東京地区大会では保全部門の現場にスポットを当てた「保全実務セッション」を併設します。本セッションでは、保全部門の実務に関する取り組みや改善事例をご発表いただきます。

①対象：保全部門の実務担当者

②発表内容、発表方法、審査項目・基準：上記(2)～(4)と同様です（「優秀改善賞」「奨励賞」の審査対象となります）

③発表のキーワード・テーマ例：

- ・故障の未然防止・再発防止：「プレス機のクラッチとブレーキの劣化診断」「コンベアのトルクオーバー対策」「配管のスケールチェック改善」
- ・機器・部品の寿命延長：「モータ軸受けの故障対策」「回転機器における音響診断の標準化」
- ・設備の信頼性向上「制御版の基盤不良低減」「塗装ロボットの異音対策」
- ・保全工数の低減：「回転機器の継手心出し調整作業の精度向上」「検査装置点検工数の削減」
- ・刃具の寿命延長：「最適切削条件の設定による刃具の寿命延長」
- ・省エネ：「設備空転の低減による省エネ」「排気装置の運転サイクルの見直し」など

Ⅲ ポスター・標語（スローガン）・記念作文 審査応募要領

1. ねらい

全国設備管理強調月間の行事として、全国各企業の従業員からポスター・標語（スローガン）・記念作文を募集し、優秀作品を選出のうえ表彰し、各企業に活用していただくことで、設備管理意識の高揚を図ります。

2. 応募要領

(1) 対象

本月間の実施要領の趣旨に賛同いただいた事業場の従業員であればどなたでも応募できます。ただし、以下の方は応募できません。

- ・ポスター：印刷物やコンピュータグラフィック等のデザイン業務を主たる業務とされている方
- ・記念作文：文筆業を主たる業務または副業とされている方

(2) 応募単位・点数

事業場単位で**一括応募**とします。社内選考のうえ、以下の点数を厳守してください。

- ・ポスター：15点以内
- ・標語（スローガン）：10点以内
- ・作文：3点以内

(3) 審査

応募作品の審査は、以下の項目・基準にもとづきます。

項目	基準
設備管理意識向上への寄与	設備管理の重要性・設備管理の理念・従業員の心がけ等が強調されていること
独創性	独創的な作品であること
表現力	表現力の優れた作品であること

(4) 発表

審査終了後、入選者の連絡窓口（申込み責任者）に通知するほか、（公社）日本プラントメンテナンス協会のホームページおよび「プラントエンジニア」誌等において発表します。なお、入選作品には、副賞を贈ります。

作品	賞の種別	点数
ポスター	金賞	1
	銀賞	3
	銅賞	10
	佳作	14以内
標語（スローガン）	金賞	1
	銀賞	3
	銅賞	10
	佳作	14以内
記念作文	金賞	1
	銀賞	3
	銅賞	10
	佳作	14以内

(5) 入選作品の利用

入選作品は小会の活動に広く印刷・頒布・公開することがありますので、応募する作品については、事前に社内で許可を得てください。

(6) 注意

- ・社内ですでに発表した作品でも応募できますが、社外未発表の作品に限ります
- ・応募作品は返却しません。各自で控えを保存してください

3. 応募作品の詳細

設備管理の重要性に関する内容で設備管理意識を高めることに役立つ作品を募集します。

(1) ポスター

① 図柄の中には必ず次の2種類の文字のみを記載し、それ以外の文字（実施期間・当会名称など）は入れないでください。

「全国設備管理強調月間」

「見る目 気づく目 工夫の目 みんなで実践 自主保全」（第44回の全国統一スローガン）

② 用紙の大きさはA2版（42cm×59.4cm）とし、紙質・色数は自由です。

③ 写真や画像データの使用も可能ですが、次の点に注意してください。

- ・制作者が撮影したオリジナルの写真を使用すること。他者が著作権を有するイラスト・写真等の使用、インターネット上の写真のコピーや市販の素材集の使用を禁止する

- ・特定の社名・ロゴ・商品名の記載は禁止する（服・帽子、ヘルメットに会社のロゴなどは記載しない）
- ・モンキースパナ（レンチ）は工具の扱い方が難しいので、掲載をしないようにお願いします。
- ④作品を送付する際は、折りたたまず、作品が損傷しないようにしっかりと包装してください。
- ⑤制作者名は、応募用紙にご記入のうえ、作品裏面に貼り付けてください。

(2) 標語（スローガン）

・**2016年度の標語（スローガン）の金賞が2017年度の設備管理強調月間のスローガンとなります**

(3) 記念作文

- ・作品には必ずタイトルをつけてください。
- ・本文は1枚につき400字（20×20）、横書き4枚以内とします（句読点も1文字とする）。

IV 応募方法および締切り

1. 応募方法および締切り

(1) 応募方法

作品に、申込み書を添付のうえ、全国設備管理強調月間推進本部事務局まで送付してください。
申込み書は、小会WEBサイト (<http://www.jipm-topics.com/gekkan/>) よりダウンロードしてください。また、標語（スローガン）・記念作文は、WEBサイトからもご応募いただけます。

(2) 応募締切り

- ・作品（ポスター、標語、記念作文）：2016年1月29日（金）
- ・活動事例発表：2016年2月19日（金）

全国設備管理強調月間に関するご応募・お問い合わせ先

公益社団法人日本プラントメンテナンス協会 全国設備管理強調月間推進本部事務局
〒105-0011 東京都港区芝公園 3-1-22 日本能率協会ビル 6階
Tel. 0120-451-466（または 03-5733-6900）
Fax. 0120-451-467（または 03-5733-6910）
E-mail：FUKYU@jipm.or.jp

本実施要領および申込み書は、以下よりダウンロードができます
URL：<http://www.jipm-topics.com/gekkan/>
または「全国設備管理強調月間」で検索